

1 第3次健康もりやま21の基本理念・基本方針（案）について	
(1) 第3次健康もりやま21の基本理念、基本方針について	
意見	回答
歯周病健診をより充実していければと思います。	ご意見頂きありがとうございます。 歯周病予防のための取組は、全身の健康づくりにおいて、非常に重要であると考えております。 今後、原案策定するなかで、健診含めた歯周病対策を検討してまいります。
4つの基本方針に基づき、より具体的な提案が必要。	ご指摘頂きありがとうございます。 お示しさせて頂いた基本方針に基づく具体的な施策を今後原案を策定するなかで、検討してまいります。
資料1、2の基本理念、基本方針の内容は問題なく良いものと考えます。一点、基本理念の②誰一人…の言葉は最近時聞かれるフレーズなのですが、「誰一人取り残さない」というのは少し強すぎる言葉の印象を持ちます。（個人的な感想ですが）	ご意見頂きありがとうございます。 「誰一人取り残さない健康づくり」には、複雑化・多様化する健康課題に対し、個人や集団の特性に応じた健康づくりが推進できるよう、記載しております。 ご理解のほど、宜しくお願い致します。
女性特有の所で やせすぎのところ…やせすぎ・食生活の乱れ（貧血・亜鉛・鉄不足）ではいかがでしょうか。 低出生体重児のリスクにつながることになる。※その乳児も亜鉛不足になっていることが多く、出生後、投与されていること有	ご指摘ありがとうございます。 女性のやせすぎの理由につきましては、食生活の乱れを含め、様々な要因が有ると考えております。 今後、原案を策定するなかで、ご指摘頂いた意見を踏まえ、記載方法について、検討してまいります。
理念・方針ともに素晴らしいと思いました。実現がなかなか多難ではあると思いますが、少しずつ前進することを願います。	お褒め頂き、ありがとうございます。 今後、第3次健康もりやま21の原案の策定を進めてまいりますので、引き続き、ご意見・ご指摘のほど、宜しくお願い致します。
（基本方針）③多様な主体と連携し…主体とは何を指しますか？	ご質問ありがとうございます。 「多様な主体」とは、歯科口腔保健に関わる関係期間・関係団体（例：歯科医師会、医師会、衛生士会、医療機関、事業所など）を想定しております。

2 第3次健康もりやま21の市の健康課題およびライフステージ別行動目標について	
(1) 市の健康課題について	
意見	回答
歯科からいえることは、食生活とブラッシング習慣です。	ご意見頂きありがとうございます。 「食生活」と「ブラッシング」は歯と口腔の健康に非常に重要であると考えております。 今後、原案を策定するなかで、具体的な内容を検討してまいります。
喫煙はあらゆる疾患に悪影響を及ぼすので、できるだけ喫煙率を減らすことは大事です。成人期の肥満とやせ過ぎは、高齢期になった時に疾病となって現れることがあるので注意が必要と思います。	ご意見頂きありがとうございます。 「喫煙（禁煙対策）」につきましては、健康づくりの重要な分野であると考えており、今後、具体的な取組を検討してまいります。 また、「肥満とやせ」につきましても、本市の健康課題である生活習慣病やフレイル対策と深い関係がありますので、今後具体的な取組を検討してまいります。
健診やがん検診の受診率低迷が気になります。 なぜ受診率が低いのか、早期発見の大切さの周知をどのようにしていくのかが大切だと思います。	ご指摘頂きありがとうございます。 「健(検)診受診率」は現計画の指標のひとつでありましたが、目標に達することができず、次計画の課題であると認識しております。 健(検)診受診率向上に向け、引き続き、効果的かつ効率的な手法について研究を重ねてまいります。
やはり、アルコールとたばこの量が疾病（癌など）の発生に関わっていると考えられる事例は多いと感じます。 （すでに記載されているので良いと考えます）	ご意見頂きありがとうございます。 飲酒と喫煙は第3次健康もりやま21の重要分野であると考えております。 今後、計画を策定するなかで、具体的な取組を検討してまいります。
食生活の乳児期～青年期で、「3食しっかり食べる」に加筆してはいかがでしょうか。下記 （毎日朝食を食べる・小さい頃より野菜がしっかり食べられる）	ご意見頂きありがとうございます。 朝食や野菜の摂取は栄養・食生活分野の重要な内容でありますので、今後原案を策定するなかで、記載方法について検討してまいります。
食生活について、個人により体形が異なり、食事量が変動するので、基準を作成したり、示したりするのは難しいと思いますが、目安適量食量なるものを視覚的な方法で周知できれば、気づかない内に落ちている基礎代謝量と食事バランスの崩れがなんとなく減少するのではと思いました。	ご意見頂きありがとうございます。 ご指摘のとおり、視覚的な方法は啓発手法として効果的でありますので、今後、実施方法を検討してまいります。
高齢期 咀嚼力の低下について 介護現場では、口腔機能・口腔体操というワードを用いる時には、噛むことだけにとどまらず、その後ののみこむこと（嚥下）まで含めて、一体的に評価することが多いです。タイトルはそのままでいいですが、中身では嚥下力や誤嚥予防にもふれていただければと思います。	ご意見頂きありがとうございます。 ご指摘のとおり、嚥下も含めた口腔機能のチェックは非常に重要であると考えておりますので、原案策定するなかで、具体的な方法を検討してまいります。

(2) ライフステージ別行動目標、社会環境づくりについて	
意見	回答
歯科衛生士会において、大津・草津の小中学校や栗東の幼稚園等のブラッシング指導の依頼があります。守山市は市の衛生士さんが行かれていると思いますが、すべての学校・園は難しいと思います。学校・園での指導の強化もいいのかと思います。	ご意見頂きありがとうございます。 育ちの世代からの正しい知識・手法の普及啓発（例：ブラッシング指導、健康教育など）は、働き盛り世代・みのりの世代へ大きく影響すると考えております。 次期計画におきましても、園・学校での普及啓発を含めた取組を推進してまいります。
特に内容、言葉ともに問題点はないと考えます。	
食生活の「地元の食文化に親しむ」とありますが、そのことについてはとても良いこととは思いますが、健康とのつながりについてわざわざここに書く必要性が見えなかったです。（何か特段の利害関係があるようでしたら、この意見は抹消してください）	ご意見頂きありがとうございます。 第3次健康もりやま21は、健康増進計画とあわせ、食育推進計画も含んでおります。 地域の食文化に親しむことは食文化の継承に非常に重要であると考えております。
高齢期 生活習慣病発症予防 かかりつけ医というワードがありませんが、触れなくてもいいですか？ Ex) せき、たん、息切れは要検診（かかりつけ医に相談）などなど	ご指摘頂きありがとうございます。 ご指摘のとおり、生活習慣病の発症予防対策において、かかりつけ医（医療機関）との連携は必要不可欠であると考えております。 今後、原案を策定するなかで、記載内容について、検討してまいります。

3 その他意見	
意見	回答
内容よくまとまっており、良い資料と考えます。	
・女性特有の課題、太点線でもよい。助成の身体か健康でないと生命が授かりにくいし。CMで一時妊娠したい方は、このサプリメントを飲みましょうと宣伝されていたが、まずは食生活等を見直すことが大事であろう。若い女性の食生活等についての意識向上をする必要があろう。 ・男性も生活習慣の見直し。夜遅く、ゲーム等をすることの体への影響をもっと知るべき。（夜に脳が働くこと、身体を整えるということ等）どう知らせていくのか。 ・「健康」になると称して、サプリメント摂取が年々増加しているように思うが、20代より飲むことのないように教育していくことが大切であろう。	ご意見頂きありがとうございます。 第3次健康もりやま21では、新たな視点として女性の健康づくりについて、推進していきたいと考えており、ご意見頂いた点も踏まえ、正しい知識の普及啓発について、検討してまいります。 また、男性の健康づくり、健康的な生活習慣・食事などにつきましても、推進していきたいと考えており、今後検討を進めてまいります。
突然の書面で少々面くらってしまいました。的外れかもしれませんが、ご確認をお願いします。	事前に書面開催の案内が出来ず、申し訳ございません。 第3回の協議会につきましては、対面での開催を予定しておりますので、ご参加のほど、宜しくお願い致します。